

Edulution

令和6年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行
GIGAスクール通信 vol.11 (R6.10.7)

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。



※県教育委員会ホームページのICT教育のバナーにアクセスしてください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>

全国学力・学習状況調査の結果を指導に活かそう

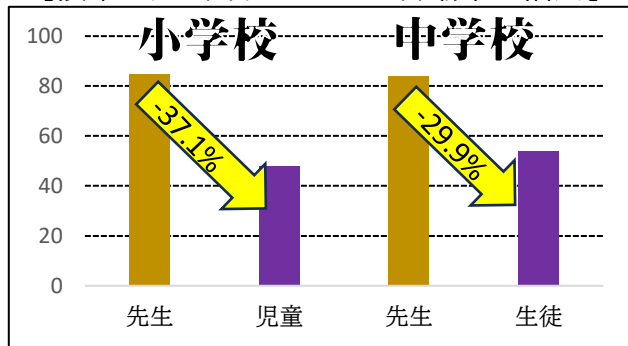
【令和6年度の千葉県の結果】

学校質問調査	小学校	中学校
ICT活用に必要な研修の機会があるか	93.3%	84.9%
ICT活用に十分必要なサポートがあるか	87.5%	81.6%
授業で週3回以上の1人1台端末の活用	84.8%	83.8%

児童生徒質問調査	小学校	中学校
授業で週3回以上の1人1台端末の活用	47.7%	53.9%

研修の機会もサポートも
それなりに充実している
(回答は肯定的な回答の割合)

【授業で週3回以上の1人1台端末の活用】



1人1台端末の活用を「毎日」に絞ると、小中学校ともに学校質問調査では「50%前半」、児童生徒質問調査では「20%前後」となり、教員と児童生徒とで1人1台端末の活用について、かなりの差がみられます。文部科学省の「教育DXに係るKPI」では週3回以上活用する学校が令和6年度には小・中学校共に100%が目標値です。今年の全国学力・学習状況調査の結果をしっかりと確認してみましょう。

【授業で週3回以上活用した割合】

学校質問調査	小学校	中学校
①自分で調べる場面	67.3%	67.6%
②まとめ・発表・表現する場面	40.0%	37.4%
③教職員と子供のやりとりする場面	44.7%	41.6%
④子供同士がやりとりする場面	28.4%	27.9%
⑤進度に合わせて課題に取り組む場面	40.0%	38.4%

オンラインで検索させれば、端末を使わせたいと思いませんか？「調べたい時に自分の判断で端末を使う」が重要です。

授業で大切なのは、自分の言葉でまとめて、発表したり表現をするアウトプットです。

他者と情報を共有し、意見を交換することが協働学習です。

個別最適な学習では全員に同じプリントを配付する学習はほぼありません。

1人1台端末を使えば
効率的になります。

※教育DXに係るKPIでは令和8年度までに
①は100%、②～⑤は80%の達成が目標です。

児童生徒質問調査	小学校	中学校
自分のペースで理解しながら学習する	84.1%	78.5%
分からないことがあったら調べられる	91.4%	93.9%
楽しみながら学習を進められる	84.6%	81.5%
画像や動画、音声を活用して学習できる	88.9%	88.7%
自分の意見をわかりやすく伝えられる	77.6%	75.5%
友達と考えを共有したり比較できる	83.2%	84.1%
友達と協力しながら学習できる	85.0%	84.1%

おおむね**8割以上**の児童生徒は1人1台端末を使って様々な学習を進めることができます。
先生方は1人1台端末が活用できる場面で**5割弱**しか活用させていません。



授業改善で困ったら



好事例をお手本に頑張りたい…

カンフル剤に講師を派遣して欲しい…

リーディングDXスクール

学校DX戦略アドバイザー

“リーディングDXスクール”は、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に好事例を展開するための事業です

成果報告がたくさん探せます、最新の「生成AI活用」についての実践例もあります。

URL:

<https://leadingdxschool.mext.go.jp>

①自治体や教育委員会等からの相談等に対応

○1人1台端末の活用、学校DXに関すること全般の相談の受付及びアドバイザーの派遣等による助言・支援

②オンライン研修会(講演・事例紹介・質問会)を実施

○課題に対する対応策や工夫など全国の具体的な取組事例等を紹介し、課題解決の糸口になるようテーマを設定、研修会を実施

③ICT人材確保のための事業者等の紹介

○GIGAスクールサポーター、ICT支援員等学校のICT化を支援する人材の確保に向けて、自治体に対し、人材の紹介・派遣等を行っている事業者等に関する情報を集約

URL:<https://advisor.mext.go.jp/>



成果報告・実践動画

学校DX戦略アドバイザー事業

ポータルサイト

令和の日本型学校教育に「個別最適な学び」「協働的な学び」は欠かせません。そのためには1人1台端末の活用が最も効果的です。